

◎ 令和5年度秋期特別展 ◎

川原寺 祈りかけの らけの

2023.10/6(金)→12/10(日)

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

【開館時間】午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで) 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

【入館料】一般350円、大学生200円、高校生および18歳未満・70歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料 *11月3日(金・祝)は無料入館日

【主催】独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 【特別協力】明日香村教育委員会、関西大学文学部考古学研究室

【後援】文化庁、近畿日本鉄道株式会社

川原寺と 祈りの かけの



裏面に「釋・勒」の文字が刻まれた磚仏 ★



金銅製品 ★



川原寺復元模型



川原寺裏山遺跡発掘調査時の様子(関西大学文学部考古学研究室 提供)

仏教文化が花開いた飛鳥時代、現在の明日香村大字川原の地に川原寺が創建されました。大官大寺・飛鳥寺・薬師寺とともに飛鳥の四大寺として栄えた川原寺は、発願の由緒や創建当時の記録が残らない謎多き古代寺院として知られています。これまでの発掘調査では、広大な寺域や川原寺独自の伽藍配置が明らかとなりました。さらに近隣の遺跡からは、火災後に埋納されたとされる大量の塑像断片や磚仏も発見されています。

本展覧会では、その多くが「かけら」の姿で発見された塑像や磚仏に焦点を当て、これまでの調査研究の成果を交えながら、大小さまざまな形の祈りのかけらををご紹介します。

火災による焼損を受けながらも奇跡的に残った繊細な造形と美しい彩色の痕跡に、ぜひご注目いただければ幸いです。



方形三尊磚仏



塑像彩色の推定復元図 制作: 大山明彦氏



塑像 甲の一部 ★
上の「塑像彩色の推定復元図」はここから復元された



塑像 腰部

塑像、磚仏、金銅製品はすべて川原寺裏山遺跡出土品(明日香村所蔵)

★＝関西大学文学部考古学研究室保管

*表面: 右上の磚仏2点、金銅製品、緑釉渦文磚は
関西大学文学部考古学研究室保管資料



塑像 頭部



奈良文化財研究所

飛鳥資料館

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
TEL 0744-54-3561
<https://www.nabunken.go.jp/asuka/>

詳細はこちら



交通

近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から奈良交通(36系統:明日香奥山・飛鳥資料館西行)バスで「飛鳥資料館」下車

駐車場

無料 普通車10台分(近くに有料駐車場あり)